

在自山と金刀比羅神社

在自山（249 m）の両側には、それぞれ宮地嶽神社と金刀比羅神社が位置しており、登山道がこれら 2 つの神社を結んでいます。在自山の頂上近くの開けたところには 2 つの鳥居が立っています。ここからは聖なる島である沖ノ島方面が望めます。遠くからでも沖ノ島を祈りたい人々が、この開けた場所を利用しています。鳥居を通して福津市と玄界灘を見渡す眺めは、写真家たちに人気があります。

金刀比羅神社は、元は在自山の頂上にありましたが、江戸時代（1603～1867 年）の間に山のふもとに移されました。この神社は、香川の金刀比羅宮とつながりがあります。どちらの神社も、海の神であり船乗りを守る大物主を祀っています。金刀比羅神社は、毎年 9 月 9 日に豊作を祈って行われる秋祭りで知られています。地域の住民は、江戸時代にこの地域を治めていた黒田家の人々の装束を着て色鮮やかな行列を作り、神輿を担いで金刀比羅神社から海まで往復します。